

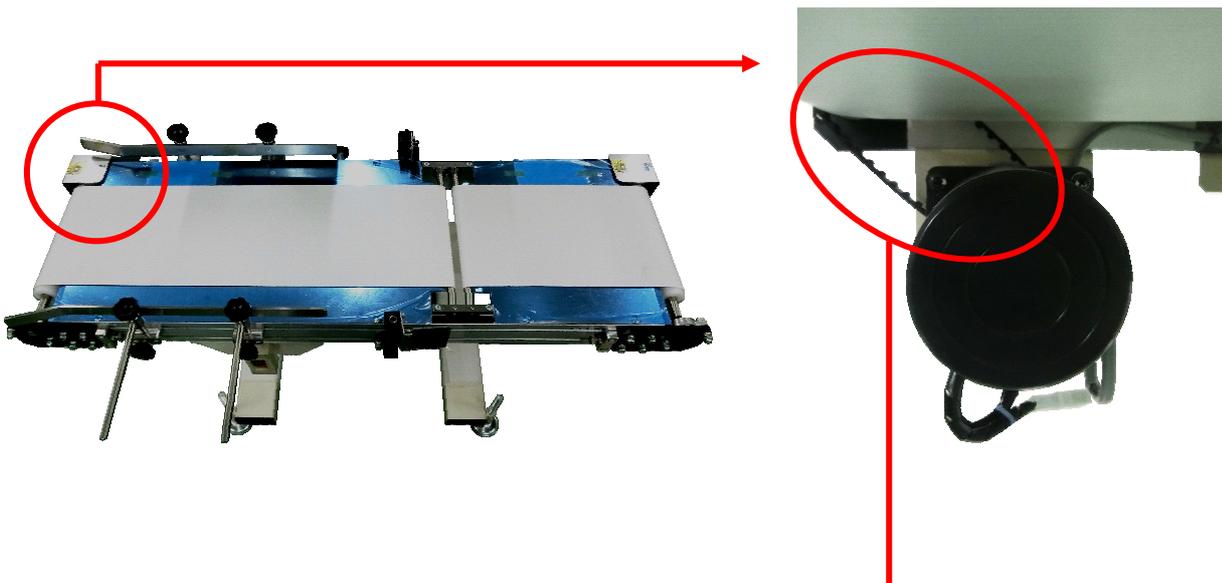
タイミングベルト(コンベヤ)交換手順

AUTOMATIC LABELING SYSTEM

LA-5 シリーズ

⚠ 警告

本機を末永くお使いいただくために、またトラブルや故障を未然に防ぐためにも、日常のお手入れが必要です。作業終了後は、毎日清掃して常に清潔に保つよう to してください。



タイミングベルト(コンベヤ)
型番: 150L-050

<コンベヤのタイミングベルトが損傷および破断すると・・・>

- コンベヤがまわらない

タイミングベルト(コンベヤ)交換手順



警告

- 交換を行う前に、**操作パネルとコンベヤの電源スイッチを切ってください**。ラベラーの駆動部やコンベヤベルトに、手を巻き込まれる可能性があるため危険です。

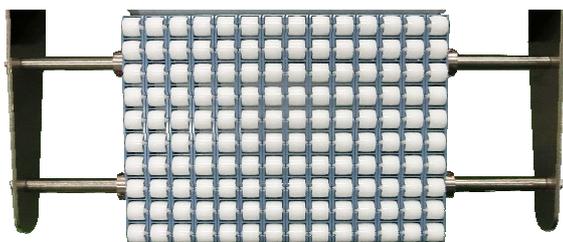
■ 作業開始前にご準備頂くもの

- ① 六角レンチセット
- ② スパナ

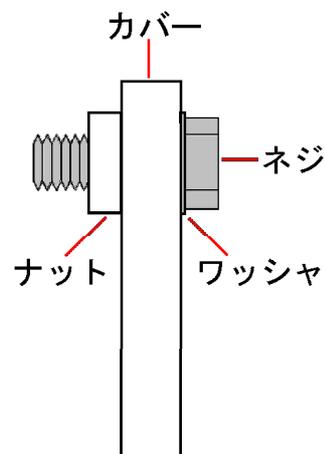


本手順書は塗装仕様における右流れのコンベヤを例に手順を解説するものとします。

- 1 ベルトカバー、排出シュート等の付帯品のネジを緩め、取り外します。

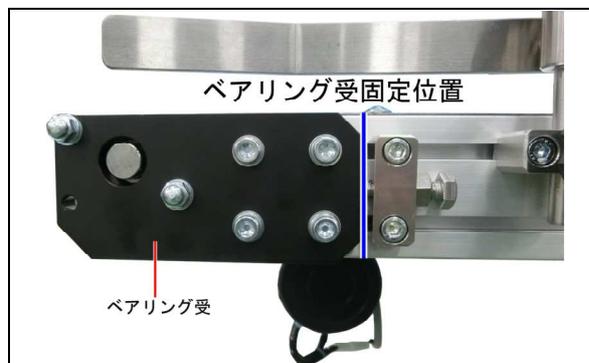


付帯品はコンベヤの内側からネジ締めが行われています。
ネジを緩めるまたは締める際は、
レンチ等でナットを固定しながら行ってください。



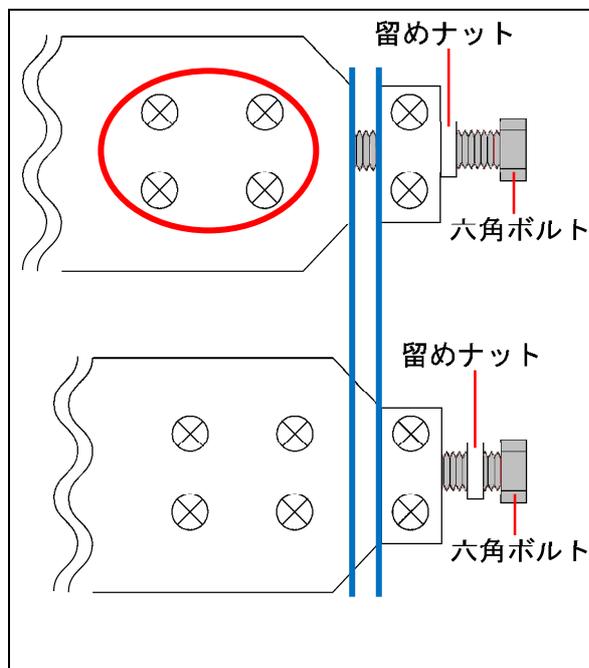
2 コンベヤ受を固定している箇所を、ペン等で印を付けておきます。

- タイミングベルト交換後の取付作業にて、ここで印を付けた箇所を目印に再取付を行います。



3 ベアリング受の留めネジ(×4)を緩めます。

- 同様に、反対側の留めネジ(×4)も緩めます。

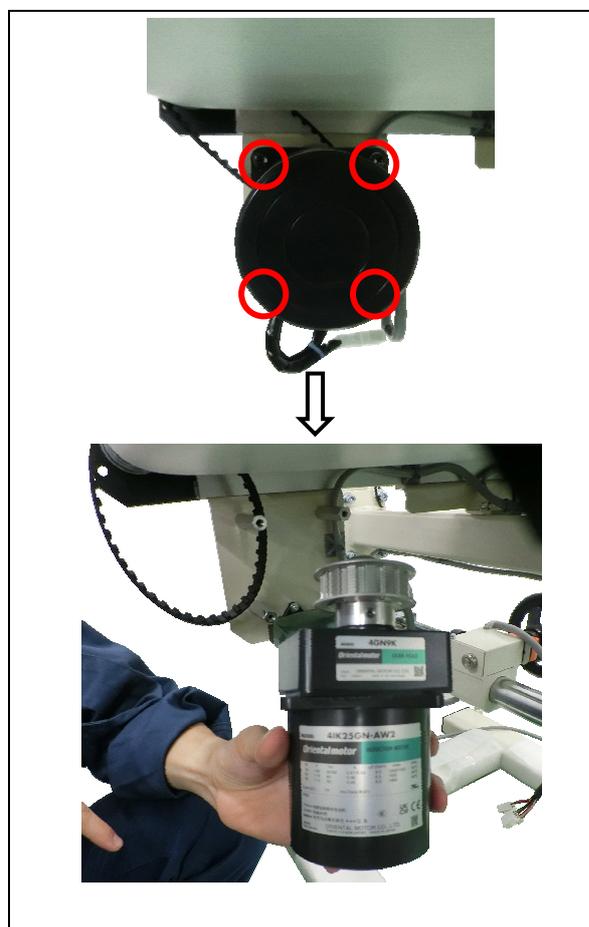
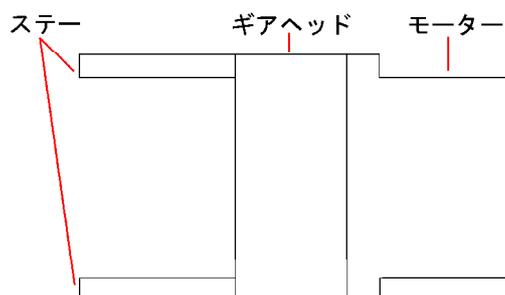


4 ベアリング受の留めナットを緩めます。

- 反対側の留めナットも緩めます。
- ベアリング受の留めネジ(×4)および留めナットを緩めると、コンベヤベルトの張力によりベアリング受とブロックの隙間がなくなります。
- コンベヤベルトの張力が緩むと、同時にタイミングベルトも緩みます。

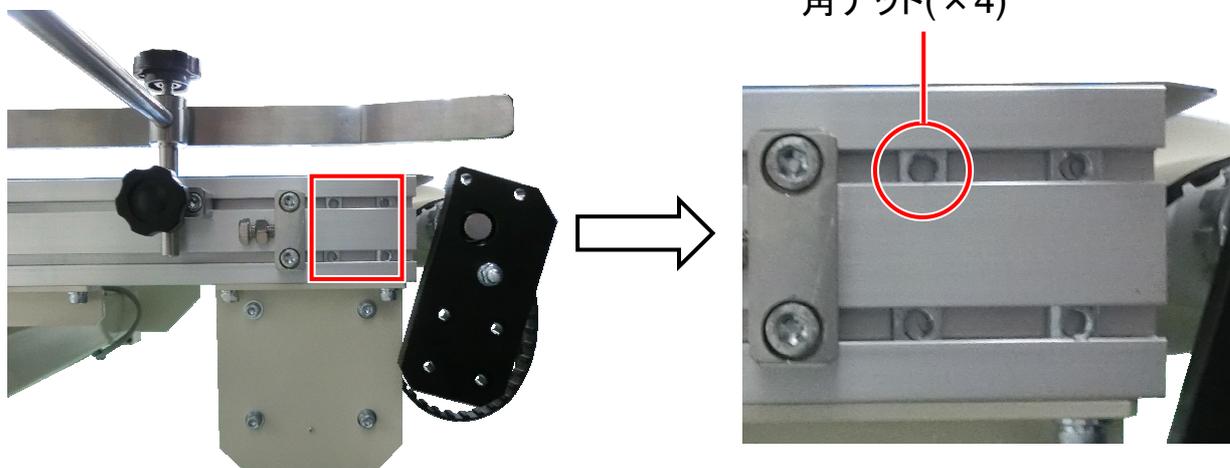
5 モーターとコンベヤを接続しているネジ(×4)を緩め、モーターからタイミングベルトを外します。

- モーターは4本のネジだけで固定されており、それらのネジを取り外すとモーターは落下してしまいます。ネジを緩める際はモーターを持ちながら行い、落とさないようご注意ください。
- モーターは配線が繋がったままの状態なので、モータープーリーからタイミングベルトを取り外したあとは再度モーターステーにモーターを固定することを推奨します。
- ステーとモーターはネジ留めされていますが、ギアヘッドは留めていないためギアヘッドが落下しないよう取り扱いにご注意ください。



6 モーター側のベアリング受の留めネジを取り外します。

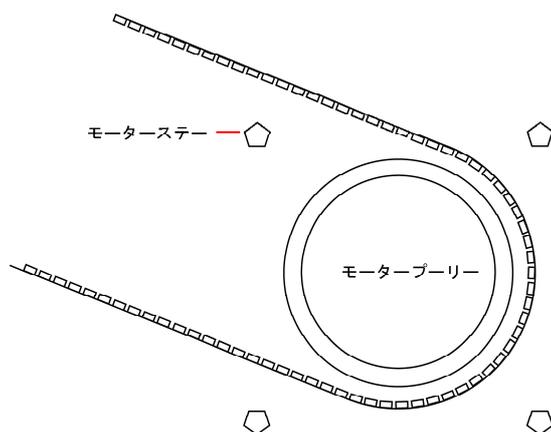
- タイミングベルトを取り外すための隙間を作ります。
- ベアリング受を外す際、アルミフレーム内の角ナットを紛失しないようご注意ください。



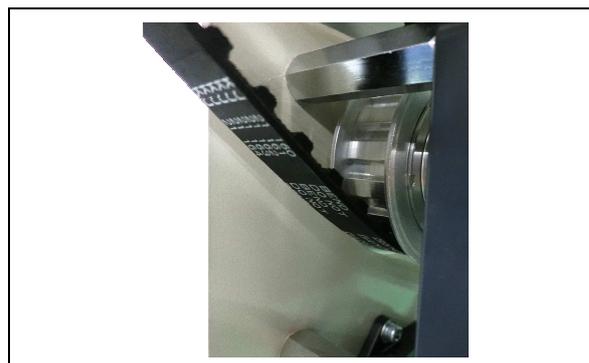
7 タイミングベルトを交換します。

8 ネジ(×4)締めを行い、モーターをモーターステーに取り付けます。

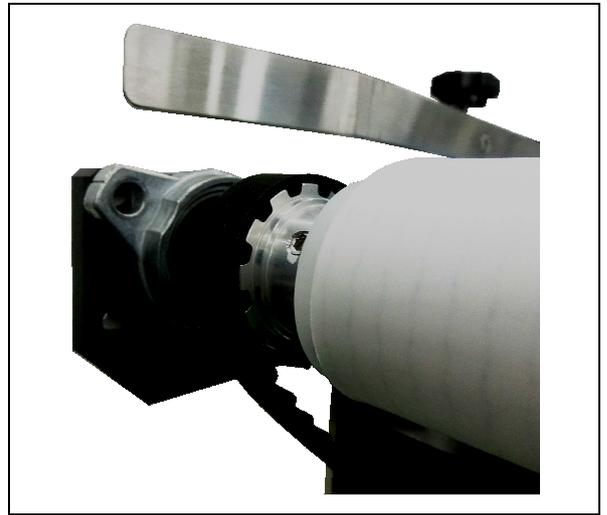
- モーターを取り付ける際、モーターおよびギアヘッドの向きに注意してください。
- タイミングベルトの経路に注意してください。



9 タイミングベルトがモータープーリーの溝と嵌合していることを確認します。



- 10 タイミングベルトがベアリング受側のプーリーの溝と嵌合していることを確認します。



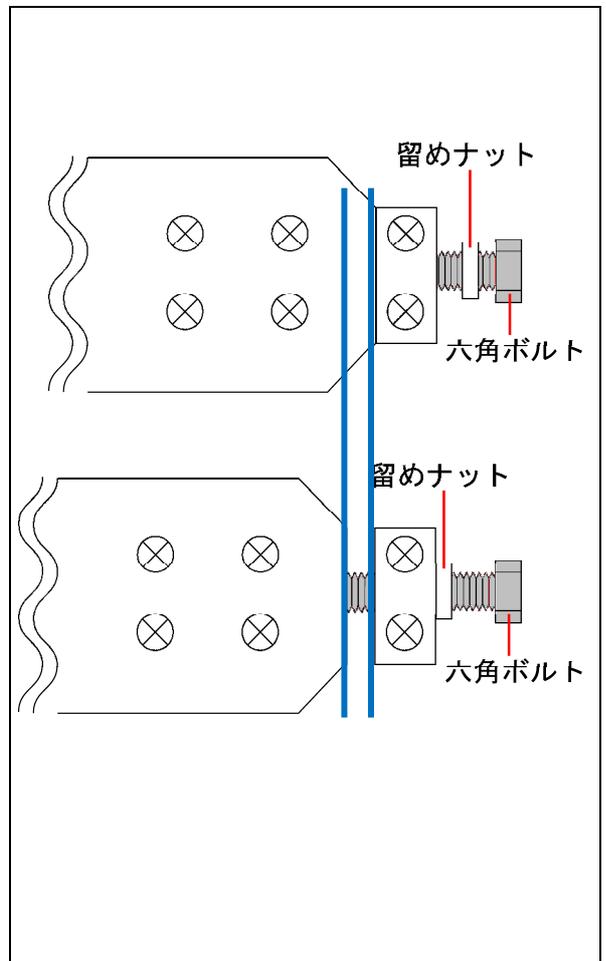
- 11 手順 2 で印をつけた箇所にベアリング受を取り付け、ネジ締め(図示の 4 箇所)を行います。

- 手順 11 で行うネジ締めは**仮留め**です。本締めは後の手順で行います。



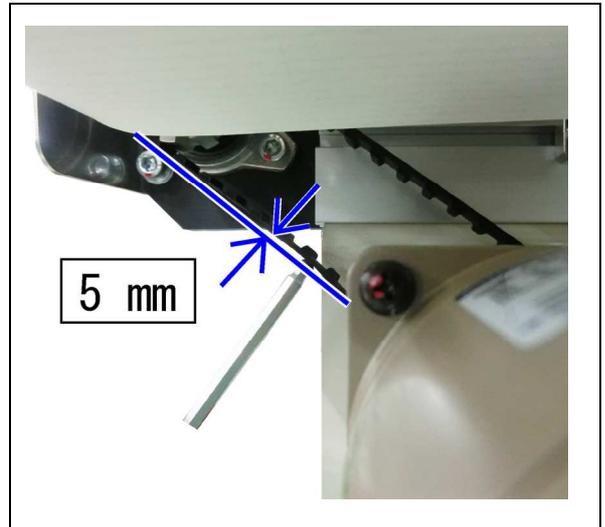
- 12 六角ボルト(図示)を締め、ベアリング受を手順 2 で印を付けた位置に調節します。

- 位置調整が完了したあと、必ず留めナットを締めてください。
- 同様に、反対側の留めネジ(×4)も締めます。
- コンベヤベルトの張力が強くなります。



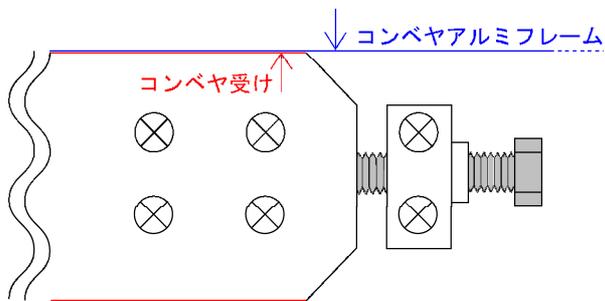
13 タイミングベルトの張力を確認します。

- タイミングベルトの張力は、タイミングベルトを押して **5mm** 凹む程度が適当です。

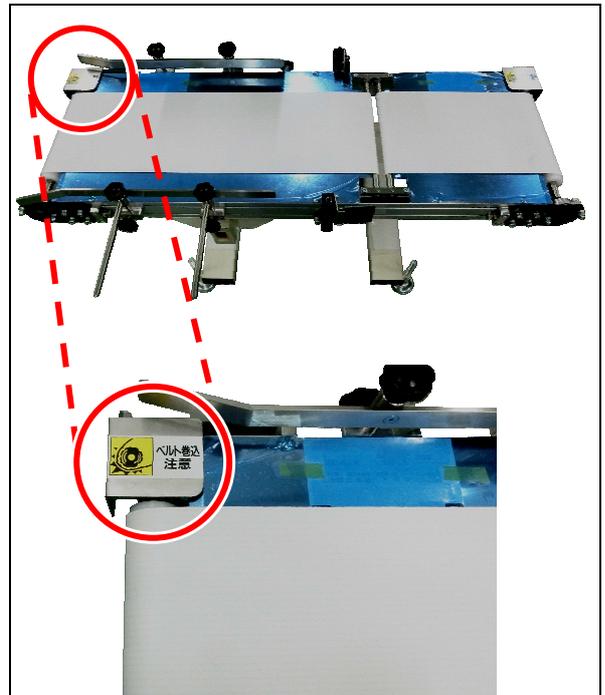
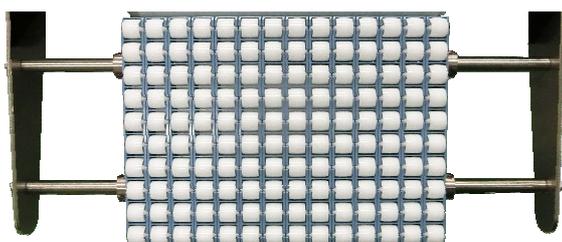


14 ベアリング受とコンベヤアルミフレームが平行になるよう、ベアリング受の留めネジ(×4)を本締めします。

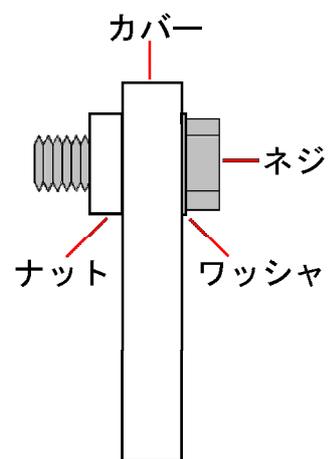
- 同様に、反対側の留めネジ(×4)も締めます。



15 ベルトカバー、排出シュート等の付帯品のネジを締め、取り付けます。



付帯品はコンベヤの内側からネジ締めが行われています。
ネジを緩めるまたは締める際は、
レンチ等でナットを固定しながら行ってください。



- 16 コンベヤを作動させ、コンベヤに蛇行がないか確認します。